

予算の執行状況

平成23(2011)年度下半期

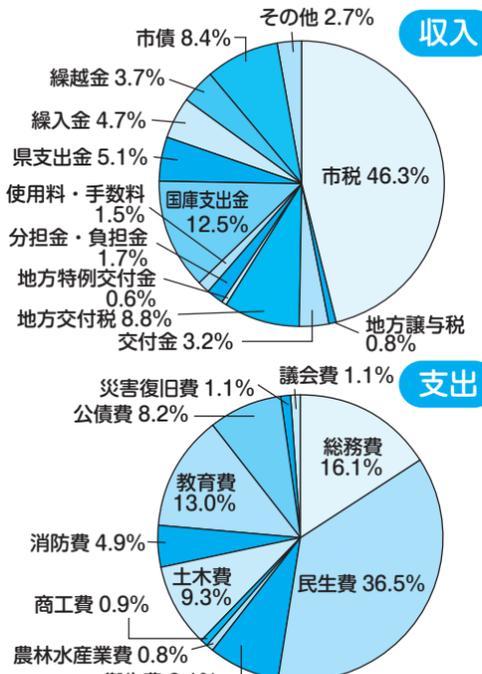
市の財政状況がどのような状況にあり、皆さんが納めた税金や国・県からの支出金などがどのように使われているかを知っていただくため、平成23(2011)年度予算の執行状況をお知らせします。なお、今回お知らせする額は決算額とは異なる場合があります。

一般会計

23年度の一般会計予算の総額は386億6863万円でしたが、実際の収入は382億585万円、支出は359億5323万円になりました。

収入から支出を差し引いた22億5262万円のうち、

▼グラフ2 平成23年度の一般会計収入・支出割合



▼グラフ1 一般会計予算の前年度との比較

項目	23年度見込額	22年度決算額	増減率(%)
市税	176億9284万円	178億7167万円	△1.0
地方譲与税	3億918万円	3億1755万円	△2.6
交付金	12億3287万円	12億5074万円	△1.4
地方交付税	33億7616万円	23億2846万円	45.0
地方特例交付金	2億2398万円	2億3441万円	△4.4
分担金・負担金	6億4141万円	6億7211万円	△4.6
使用料・手数料	5億7546万円	5億4639万円	5.3
国庫支出金	47億8699万円	43億7354万円	9.5
県支出金	16億2814万円	19億4537万円	19.5
繰入金	17億8394万円	16億2814万円	382.8
繰越金	3億6951万円	14億2782万円	9.5
市債	13億433万円	31億8971万円	0.9
その他	10億2012万円	31億6279万円	22.6
合計	382億585万円	348億9167万円	9.5

項目	23年度見込額	22年度決算額	増減率(%)
議会費	3億9668万円	3億2354万円	22.6
総務費	58億6795万円	59億7776万円	△1.8
民生費	132億7423万円	126億6442万円	4.8
衛生費	29億3604万円	25億6860万円	14.3
農林水産業費	3億815万円	3億1808万円	10.6
農工費	2億7871万円	3億3804万円	△5.9
土木費	33億9566万円	31億8561万円	6.6
消費費	17億8154万円	15億5908万円	14.3
教育費	47億4682万円	39億3505万円	20.6
公債費	29億6589万円	27億9040万円	6.3
災害復旧費	3億8669万円	2億966万円	84.4
合計	363億7773万円	338億3087万円	7.5

(注) ※支出見込額には、翌年度への繰越し事業の財源を加算した実質収支で掲載しています。

▼表1 市民の負担状況

項目	市民一人あたり	一世帯あたり
費用	26万9359円	65万1685円
市税負担額	13万1007円	31万6957円

※24年4月1日現在の人口で比較。

▼表2 市債(普通会計)・債務負担行為の市民一人あたりの比較

年度	市債現在高	債務負担行為未払残高
23年度 我孫子市	21万2941円	3万2782円
22年度の県内36市平均	32万6828円	7万4001円

※県内平均市債現在高は普通会計で表示。

▼表3 市債(普通会計)・債務負担行為の推移

年度	市債現在高	債務負担行為未払残高
21年度	273億4708万円	20億2102万円
22年度	281億3314万円	49億4308万円
23年度	287億5829万円	44億2733万円

▼表4 特別会計予算執行状況

会計	収入見込額	支出見込額
国民健康保険事業	134億5145万円	130億2844万円
土地区画整理事業	670万円	10万円
公共下水道事業※	33億9163万円	30億8783万円
老人保健	504万円	504万円
介護保険	64億2191万円	63億4409万円
後期高齢者医療	12億7186万円	12億4056万円
合計	245億4859万円	237億0606万円

※公共下水道事業特別会計における支出見込額には、翌年度への繰越し事業の財源を加算した実質収支で掲載しています。

▼表5 水道事業会計の状況

＜事業経営に係る事業収支(税抜き)＞	
水道事業収益	23億8764万円
水道事業費用	22億7784万円
差し引き	1億980万円
＜水道施設建設に係る資本的収支(税込み)＞	
資本的収入※1	2571万円
資本的支出※2	6億2303万円
差し引き(補てん額)	△5億9732万円

※1有価証券償還受入金1億9979万円を除く。

※2有価証券取得費1億9995万円を除く。

収入から支出を差し引いた22億5262万円のうち、

- ・収入(歳入)
 - 繰入金(382.8%増)
 - 東日本大震災の発生による増減の主な理由
- ・支出(歳出)
 - 排水路整備に係る柏市からの負担金や、民間開発による発掘調査負担金が減ったため。
 - ・災害復旧費(84.4%増)
 - 道路などの公共施設の復旧や、大きな被害を受けた布佐東部地区への復興対策室の設置などにより増。
 - ・議会費(22.6%増)
 - 地方議会議員年金制度が

市民の負担状況

市民サービスやいろいろな事業を行うための費用は、皆さんに納めていただいている市税のほか、国や県からの支出金や市の借入金である地方債などで賄われています。

24年4月1日現在の人口13万5053人、世帯数5万5821世帯で算出した市民一人あたりおよび一世帯あたりの費用と市税負担状況は、表1のとおりです。

市債は、施設整備や用地取得などの費用に充てられたため、財務省や地方公共団体

特別会計

特別会計は、特定の事業を行うため一般会計と区別して経理する必要がある場合に設ける会計です。(表4)

水道事業会計

水道事業は、公営企業として独立採算で運営されています。23年度の事業収支は、1億980万円の利益剰余金が生じました。

資本的支出の主な内容は、布佐地区などの配水管布設工事、久寺家地区などの老朽管布設替工事、浄水場関

電気使用量を減らすために

夏はエアコンなど、電気使用量が増える季節です。市では、夏の電力使用量を学校や保育園、障害者施設などは22年度比15%削減、その他の施設については22年度比25%削減を目標とし、事務室は室温30℃でエアコン使用を基本に、エコルックや緑のカーテンなどに取り組んでいます。

電気使用量を減らすために次のことを心がけましょう。

- ◆冷房は28℃を目安に温度設定を。
- ◆エアコンのフィルターは、月に1~2回を目安に清掃する。
- ◆レースのカーテンやすだれ、緑のカーテンなどで日差しをカットする。
- ◆扇風機を上手に活用する。風が体にあたると涼しく感じます。
- ◆室外機の周りにはなるべく物をおかないようにする。
- ◆部屋の照明は、こまめに消灯し、観ていないテレビは消す。
- ◆冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くする。
- ◆洗濯物はまとめて洗いを。

※暑さが厳しいときは、無理せずエアコンを使いましょう。こまめに水分をとり、熱中症に気をつけてください。

手賀沼課・内線468